

学校行事参加型＋講演会型＋子育てサロン型（幼稚園）

学校名等	神戸町立神戸幼稚園
実施日時	平成29年9月15日 10:00～11:15
会場	神戸幼稚園 もちのきホール
参加人数	60名
学習課題（分野）	子育てについて（講演会・サロン）
運営者の願い	子どもたちの周りにスマホやタブレット等の情報機器が常用化し、『スマホ育児』という言葉が出るくらい子どもたちの生活の中に入り込んでいる。講演を聞き、保護者同士の交流を図りながら家庭での子どもたちの発達に合わせた関わり方や情報機器との関わり方について学び合いたい。



参加率を上げるため、運動会前の奉仕作業の日に位置付けた。今、社会で問題になっている子どもと情報機器との関わりについての講演ということで、興味をもって参加される保護者が多かった。

学 習 の 内 容

<奉仕作業>

- ・運動会前の清掃作業として4歳児の保護者が、園庭の草取りを行う。

<講演会> 西濃教育事務所 教育支援課 家庭教育推進専門職 後藤 伊都子先生 テーマ 『親の笑顔は子の笑顔』

- ・『子どもが育ちにくい社会』『子どもを育てにくい社会』である。
- ・自己肯定感を育てることが自立した大人になる。
自己肯定感を育てるためには、成功体験の積み重ねとそれを認めてくれる』周りの人の存在が必要である。「子どもを無条件に愛する。」「我が子の成長に心から喜べる親でいる。」「基本的な生活習慣は、家庭の仕事。」「笑顔を忘れない。」
- ・スマホ、テレビ、ゲームは、脳を硬直させる。大人が使い方を見直す。ルールを作り見直す。

<座談会>

- ・6～7人のグループになり、講演会の内容をもとに家庭での悩みを出し合ったり、それに対して共感したり、経験をもとにした話を出し合ったりしながら、自分の子育てを振り返る機会となった。
- ・講師の後藤先生もグループに入ってください、直接お話を聞くことができた。



<まとめ>

- ・後藤先生による絵本『おこだてませんように』の読み聞かせ。



ぼくはいつもおこられる
いえでもがっこうでも
きのうもおこられたし
きょうもおこられてる。
きっと あしたも
おこられるやろ・・・

『親の笑顔は子の笑顔』

子どもの誕生日は親の誕生日

あわてず、あせらず

あきらめず



<アンケートより>

- ・まとめた資料を作成し、各家庭に配布した。

- ・赤ちゃんの頃は、一つ一つを褒めていたのに、いつからか周りと比べて怒ってばかり。良いところを褒めてあげたい。
- ・帰ったら、子どもを抱きしめたくなった。
- ・「子は宝」「親の笑顔は子の笑顔」毎日の忙しさで、子どもを授かった幸せを忘れてしまいがちです。改めて考えさせて頂けた。
- ・スマホやタブレットが未熟な脳に与える影響は計り知れない分、親が触れさせないように意識することが大事だと思った。
- ・気持ちの余裕がないと難しいですが、子どもとは笑顔で接しようと思いました。



後藤先生の講演の後での話し合いは、共通の話題から話が盛り上がり、悩みを出し合ったり、共感したりと保護者同士が気軽に話し合うことができた。

